

事業体（団体）名	札幌市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修「上水道施設技術総合（B）」
実施期間	2015年7月6日～9月14日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>水道建設計画の策定技能の習得を中心に、水道施設や水道事業の運営に指導的役割を果たす技術者を養成することを目的とした集団研修。</p> <p>開発途上国の中堅水道技術者を対象とし、約2か月半にわたり水道技術全般に関する講義、視察、実習を実施。平成27年度末で23回の受入実績である。平成24年度まで実施していた「寒冷地上水道技術コース」18回の受入も含め、285名の研修員を受け入れている。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取水・貯水・導送配水施設 ・漏水防止対策 ・水道資機材製造工場見学 ・水需要予測 ・ジャーテスト ・水道計画概論 ・管網解析 他
対象（相手）国・機関名	バングラデシュ1名、ガナ1名、インドネシア2名、モリシャス1名、ナイジェリア1名、リウカ1名、タンザニア1名、フィジー1名、ラオス2名（合計11名）

写真



事業体（団体）名	札幌市水道局
----------	---------------

事業名称	ウランバートル市送配水機能改善支援協力事業 (JICA草の根技術協力事業「地域活性化特別枠」)
実施期間	2016年2月1日～2019年12月31日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>モンゴル国の首都ウランバートル市において、水道の送配水に関する技術移転などを通じて水道技術者の育成を行うことを目標とし、将来の同市における水道システムの改善へとつなげる。</p> <p>2016年2月15日～20日の日程で本市水道局職員4名がウランバートル市を訪問し、キックオフセミナー、現地の水道施設調査などを実施した。</p> <p>主な事業内容は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存送配水施設の運転管理状況の確認 ・ 適切な送配水システム構築のための技術指導 ・ モデル的な送配水機能改善計画の策定指導 ・ 研修員の受入れ
対象（相手）国・機関名	モンゴル (ウランバートル市、ウランバートル市上下水道公社、ウランバートル市住宅公共事業公社)

写真



事業体（団体）名	東京都水道局
----------	---------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業（マレーシアにおける無収水削減技術研修・能力向上プロジェクト）
実施期間	2014年～2016年
主催機関	JICA、東京都水道局、東京水道サービス（株）
事業概要・目的	<p>高い無収水率が課題となっているマレーシアにおいて、無収水削減対策の専門家を育成し、これら専門家がマレーシア各地の水道事業体から選抜された研修生に、実践的な無収水削減対策を指導する体制を構築するための事業。2014年9月、ペナン州に研修フィールドを整備。現地研修や訪日研修を行っており、東京都水道局では訪日研修を定期的に受け入れている。</p> <p>2015年度：訪日研修（2015年4月7日～10日、9月28日～10月1日）</p>
対象（相手）国・機関名	マレーシア エネルギー・環境技術・水省、ペナン水道

写真



事業体（団体）名	東京都水道局
----------	---------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト（ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト）
実施期間	2015年～2020年
主催機関	JICA、東京都水道局、福岡市水道局、東京水道サービス(株)、(株)PUC 等
事業概要・目的	<p>ヤンゴンでは、円借款を活用した水道施設整備が進められているが、持続的な給水サービスを確保するためには、施設整備と並行して、ヤンゴン市開発委員会の組織能力強化も必要であるため、JICAが円借款事業に付した技術協カプロジェクトを実施。東京都水道局は、福岡市水道局と共同で現地セミナーや訪日研修を実施。</p> <p>2015年度：講師派遣（1月24日～1月30日）</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	東京都水道局
----------	--------

事業名称	JICA国別研修 南アフリカ共和国「水質管理」
実施期間	2016年1月18日～1月29日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>本研修は2013年度から2015年度にかけて3か年に亘って実施される訪日研修で、初年度は国土交通省にて下水道分野の研修が実施され、次年度は東京都水道局が漏水防止や水質管理等の上水道分野全般にわたる研修を実施。</p> <p>2015年度は東京都水道局の水質管理や水質検査をテーマとして、講義、視察、演習、職員との意見交換等を行った。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質管理や水質検査に関する講義（水質検査計画、水質事故対応、生物・細菌試験について等） ・水質センター、研修・開発センター、浄水場等の見学 ・厚生労働省による講義 ・民間企業による水質検査機器の説明やデモンストレーション
対象（相手）国・機関名	南アフリカ共和国 20名

写真



事業体（団体）名	東京都水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修 ミャンマー「上水道無収水量管理対策（漏水防止対策）」
実施期間	2015年11月30日～12月18日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>ミャンマーには無収水管理における実践的な技術と知識を持っている技術者が少なく、技術者の育成が急務となっている。JICAは給水工事に携わる技術者を対象として、漏水防止を中心に、無収水管理に関する知識・技術の習得を目的とした研修を実施。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏水防止対策に関する講義（東京都の漏水防止対策、無収水対策の機器、水道緊急隊の活動等） ・研修・開発センター、浄水場等の見学 ・東京水道サービス(株)による講義・工事現場見学 ・厚生労働省による講義 ・福岡市水道局における研修 ・民間企業による講義、工場見学
対象（相手）国・機関名	ミャンマー 8名

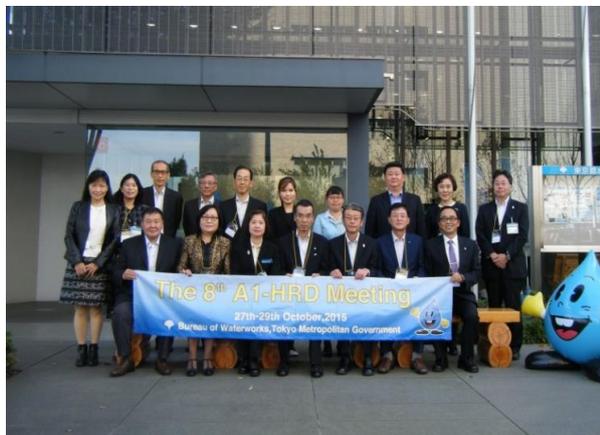
写真



事業体（団体）名	東京都水道局
----------	---------------

事業名称	アジア水道事業体人材育成ネットワーク（A1-HRD）
実施期間	2015年10月27日～29日
主催機関	東京都水道局：主催国はメンバー間の持回り
事業概要・目的	<p>アジア諸都市の水道事業体がメンバーとなり、人材育成や研修手法などに関する情報交換を通じて、アジア全体の水道事業のレベルアップに寄与しようとする取組み。</p> <p>主な活動内容：年1回の会議：人材育成をテーマとした発表・質疑応答及び意見交換、その他自由討議、視察の実施。 ホームページ、ニュースレターによる人材育成の情報交換。</p> <p>2015年度は、東京にて第8回会議を開催した。</p>
対象（相手）国・機関名	<p>大韓民国：韓国水資源公社（K-water）、ソウル特別市上水道事業本部 台湾：台湾自來水公司 タイ王国：タイ王国首都圏水道公社（MWA） 日本：東京都水道局 モンゴル：モンゴル水調整委員会（WSRC）、ウランバートル市住宅公共事業公社（OSNAAUG） ※モンゴルはオブザーバー参加</p>

写真



事業体（団体）名	横浜市水道局
事業名称	JICA草の根技術協力事業（地域経済活性化特別枠）「横浜の民間技術によるベトナム国『安全な水』供給プロジェクト」
実施期間	全事業期間：2014年2月～2016年11月
主催機関	横浜市水道局（JICA受託事業）
事業概要・目的	<p>2013年に横浜市水道局との技術協力10周年を迎えたフ工省水道公社を中心対象機関として、優れた技術を有する横浜水ビジネス協議会会員企業の優れた技術をベトナムに紹介し、水ビジネス展開を支援するとともに、ベトナム国中南部地域での水道事業の課題解決を支援し、安全な水の供給に貢献する。</p> <p>1. 実施形態</p> <p>(1) 職員の派遣（打合せ、分野別現地調査、実技指導、ワークショップ）及び機材の現地搬入等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回現地業務（2015年5月10日～16日）：横浜市水道局2人 ・ 第6回現地業務（2015年6月17日セミナー開催）：横浜市水道局16人、 横浜水ビジネス協議会会員企業4社 ・ 第7回現地業務（2015年12月9日～20日）：横浜市水道局3人、横浜水ビジネス協議会会員企業1社 ・ 第8回現地業務（2016年1月3日～15日）：横浜市水道局2人、横浜水ビジネス協議会会員企業1社 <p>※ 第1回現地業務は平成2013年度</p> <p>(2) 本邦研修（講義、視察及び実技指導等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2015年11月11日～11月21日：フ工省水道公社2人 ・ 2015年12月1日～12月10日：フ工水道公社3人 <p>2. 事業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給配水管改良 ・ 浄水場改良 ・ 公民連携 ・ 無収水対策 ・ データ管理
対象（相手）国・機関名	ベトナム国フ工省水道公社等
写真	

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」
------	-----------------------------

実施期間	2015年7月9日～8月5日
------	----------------

主催機関	JICA、横浜ウォーター（株）、横浜市水道局
------	------------------------

事業概要・目的	<p>2008年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議を契機に、横浜市水道局は独立行政法人国際協力機構（JICA）と協力して、アフリカ諸国を対象とした水道分野の研修員受入を3か年の予定で実施してきた。2011年10月に横浜市・JICAとの包括連携協定が締結され、より一層強化された協力関係のもと、引き続き3か年の予定で同様の研修を実施し、アフリカの国々の水道を取り巻く環境の向上に貢献している。</p> <p>2015年度まで計9回（2013年度は英・仏語コース各1回実施）、27か国から100人の研修員を受け入れている。</p> <p>本研修事業は、総合的な視点での水道事業運営の強化及び同視点に基づく具体的改善方法について、研修参加者の組織内の技術者等関係者へ共有・普及することを目的としている。</p> <p>1. 実施形態：日本国内で講義・実習・見学・意見交換等</p> <p>2. 実施内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前水道教室及び小学生との交流 ・ 取水関係施設視察 ・ 拡張の歴史 ・ 漏水防止対策と漏水探査実習 ・ 配水管理 ・ 料金徴収及び顧客サービス ・ 水源管理 ・ 水安全計画 ・ 水質管理 ・ 浄水場運営管理 ・ 水道メータ維持管理 ・ その他
---------	--

対象（相手）国・機関名	マラウィ（2）、南スーダン（1）、タンザニア（1）、エリトリア（1）、エチオピア（2）、ザンビア（1）、セネガル（1）、ソマリア（1）、ジンバブエ（1）
-------------	--



事業体（団体）名	横浜市水道局
事業名称	2015年度 マラウイ国上水道支援への横浜市水道局職員派遣事業
実施期間	2015年9月30日～10月29日
主催機関	J I C A、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>2011年10月にJICAと横浜市の間で締結した包括連携協定に基づき、JICAのボランティア短期派遣制度を活用して、アフリカ諸国へ職員を派遣し、現地水道事業体の課題解決を支援している。初回の派遣は2013年のタンザニア連合共和国ザンジバル水公社派遣で、2014年以降はマラウイ国ブランタイア水公社に職員を派遣している。2015年度の派遣者は3名であった。</p> <p>1. 実施形態：職員派遣による現地水道事業体の課題改善に向けた支援等</p> <p>2. 事業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無収水対策 ・施工監理 ・市民への啓発活動 等
対象（相手）国・機関名	マラウイ国ブランタイア水公社
写真	

事業体（団体）名	川崎市上下水道局
----------	-----------------

事業名称	ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト
実施期間	2015年6月3日～2015年8月29日（専門家派遣） 2015年11月26日～2016年2月23日（専門家派遣）
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>ラオス国の水道普及率向上に向けて水道公社の中長期的視野に基づく事業管理能力を強化するため、3つのパイロット水道公社において、データの整備や長期・中期・短期事業計画の策定支援とその実施を行い、その成果を活かしながら全国の水道公社への展開を図ると共に、国における事業モニタリング能力の強化を図る2017年度までの5年間のプロジェクト。</p> <p>さいたま市、埼玉県、横浜市と共に短期専門家を派遣し、川崎市は主に配給水管施設計画、水質管理計画などの指導を行った。</p>
対象（相手）国・機関名	ラオス ビエンチャン特別市、ルアンプラバン県、カムアン県

写真



事業体（団体）名	千葉県水道局
----------	--------

事業名称	JICA 専門家派遣（東ティモール民主共和国給水改善アドバイザー）
実施期間	<p><平成24年度～平成26年度></p> <p>2012年4月30日～2015年4月29日（長期派遣）</p> <p>2014年5月19日～2014年6月15日（短期派遣）</p> <p><平成27年度></p> <p>2015年7月27日～（長期派遣）</p> <p>2015年10月26日～11月4日（短期派遣）</p> <p>2016年1月8日～2016年2月7日（短期派遣）</p>
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>東ティモール民主共和国政府は、全ての国民が安全な水にアクセスできるようになり、12県都市部で24時間給水を達成することを、2030年までの長期目標として掲げている。なお、2012年の安全な水へのアクセス率は、全国平均でも70%（都市で95%、村落で61%）となっている。</p> <p>日本国政府は、これまで各種支援を行ってきたが、今後も目標達成に向け継続した支援が必要であるとしている。</p> <p>【長期派遣】</p> <p>当局では、独立行政法人国際協力機構(JICA)からの要請により、東ティモール民主共和国に対し、平成24年4月から職員を3年間派遣し、1日に数時間程度しか給水できなかった水道を、現地職員を指導しながら改善に取り組み、一部の区域について安定した24時間給水を実現させた。</p> <p>平成27年度は、7月から後任の職員を派遣し、24時間給水区域の拡大に向けて支援を続けている。</p> <p>(派遣内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄水場の運転管理体制と水質管理体制の向上 ・24時間給水区域拡大のための配水システムのさらなる改善 ・水道事業を独立採算で運営するための組織づくり <p>【短期派遣】</p> <p>JICAから要請を受け、平成27年度までに延べ8名の専門家短期派遣を行った。なお、平成27年度に現地で開催されたJICAが主催する水道事業経営に関するセミナーで、水道局長が政府高官及び関係者に講演した。</p> <p>(派遣内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営企業としての水道事業経営、組織編成の考え方等の指導 ・効率的な給水方法、使用水量の把握方法等の指導 ・水質検査方法や薬品注入量の指導 ・施設の運転やメンテナンスの指導
対象（相手）国・機関名	東ティモール民主共和国



事業体（団体）名	さいたま市水道局
----------	-----------------

事業名称	ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト
実施期間	2015年6月10日～10月15日（専門家派遣2名） 2015年8月27日～10月9日（本邦研修受入13名） 2015年12月10日～2016年3月5日（専門家派遣2名）
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>ラオス国の水道普及率向上に向けて水道公社の中長期的視野に基づく事業管理能力を強化するため、3つのパイロット水道公社（ビエンチャン特別市水道公社、ルアンプラバン県水道公社、カムアン県水道公社）において、データの整備や長期・中期・短期事業計画の策定支援とその実施を行い、その成果を活かしながら全国の水道公社への展開を図るとともに、国における事業モニタリング能力の強化を図る2017年度までの5年間のプロジェクト。</p> <p>専門家派遣は、埼玉県、川崎市、横浜市と共に実施し、さいたま市は主に配給水管施設計画、水道事業経営管理などの指導を行った。</p> <p>本邦研修受入では、44日間（実働29日間）にわたり上記事業体を中心とした水道関係機関において幅広く受入を実施し、さいたま市水道局は8日間を担当した。</p>
対象（相手）国・機関名	ラオス ビエンチャン特別市、ルアンプラバン県、カムアン県

写真



事業体（団体）名	さいたま市水道局
----------	----------

事業名称	日本水道協会全国会議へのラオスからの招聘
実施期間	2015年10月19日～10月24日
主催機関	日本水道協会
事業概要・目的	<p>さいたま市水道局では、1992年より20年以上にわたり、JICA事業を中心としたラオス国への支援を実施している。</p> <p>現在ラオス国に水道協会はないが、水道資機材の基準作りや認証、研修体制の充実、国際的な連携窓口等を担うことを目的としてその必要性が認識され、現在実施中のJICAラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクトにおいても設立を支援している。</p> <p>さいたま市にて日本水道協会による全国会議が開催されることに合わせ、当市ではラオス国公共事業運輸省住宅都市計画局より1名、ビエンチャン特別市水道公社より1名の幹部を招聘し、さいたま市との連携を促進すると共に、水道協会への理解を深め、各国より参加した水道協会関係者との国際イベントを通じた人脈形成、水道展における水道関係企業の視察等、多面的な取組みを実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	ラオス 公共事業運輸省、ビエンチャン特別市水道公社

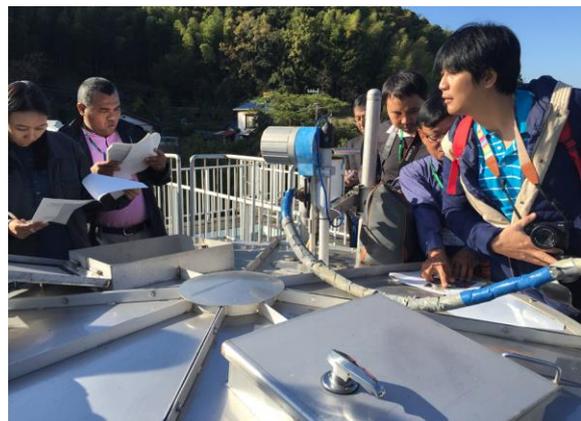
写真



事業体（団体）名	埼玉県企業局
----------	--------

事業名称	タイ地方水道公社における浄水場維持管理能力向上支援事業
実施期間	2015年7月5日～7月18日（第1回専門家派遣：チェンマイ） 2015年7月12日～7月25日（第1回専門家派遣：ノンカイ） 2015年11月23日～12月4日（本邦研修） 2015年12月13日～12月25日（第2回専門家派遣：チェンマイ・ノンカイ） 2016年1月27日～1月30日（活動報告会（セミナー） 専門家派遣：バンコク）
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>JICA草の根技術協力事業（地域経済活性化特別枠）として実施。期間は2013年度から2015年度まで。タイ地方水道公社（Provincial Waterworks Authority, PWA）を対象に、浄水場における運転管理の効率化について技術支援を行っている。PWAの職員を対象とした日本国内での研修のほか、日本からタイへ専門家を派遣し、技術指導を実施している。浄水場職員の技術力が向上し、その技術をPWA全域の職員に共有されることを目標とする。</p> <p>【専門家派遣】 派遣人数：各回3～4名 実施内容：専門家の派遣による技術指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水処理技術の向上支援 ・水質管理技術の向上支援 ・施設管理技術の向上支援 <p>【本邦研修】 受入人数：8名 実施内容：日本国内で講義・実習・見学等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水処理、水質管理、排水処理技術 ・無収水対策
対象（相手）国・機関名	タイ地方水道公社

写真



事業体（団体）名	埼玉県企業局
----------	--------

事業名称	ラオス国 水道公社における浄水場運転・維持管理能力向上支援事業
実施期間	2016年2月14日～2月27日（専門家派遣）
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>JICA草の根技術協力事業（地域経済活性化特別枠）として実施。期間は2016年1月から2019年1月まで。支援対象地域水道公社の浄水場職員が技術力を向上させ、浄水場の健全な運転管理、維持管理及び水質管理を行うことで、良質な水の安定的な供給を実現し、ラオス全体の水道事業の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>【専門家派遣】 派遣人数：3名 実施内容：事業計画策定のためのベースライン調査</p>
対象（相手）国・機関名	ラオス公共事業運輸省住宅都市計画局

写真



事業体（団体）名	埼玉県企業局
----------	---------------

事業名称	ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト
実施期間	2015年7月22日～10月15日（専門家派遣）
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>ラオス国の水道普及率向上に向けて水道公社の中長期的視野に基づく事業管理能力を強化するため、3つのパイロット水道公社において、データの整備や長期・中期・短期事業計画の策定支援とその実施を行い、その成果を活かしながら全国の水道公社への展開を図るとともに、国における事業モニタリング能力の強化を図る2017年度までの5年間のプロジェクト。</p> <p>さいたま市、川崎市、横浜市と共に短期専門家を派遣し、埼玉県は主に浄水場施設計画、モニタリング（行政能力向上）の指導を行う。</p>
対象（相手）国・機関名	ラオス公共事業運輸省住宅都市計画局

写真



事業体（団体）名	名古屋市上下水道局
----------	------------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 スリランカ配水管施工管理能力強化プロジェクト
実施期間	2014年3月 ～ 2017年3月
主催機関	JICA
事業概要・目的	スリランカ上下水道公社の職員の配水管工事の施工管理能力を強化するため、同公社職員の受け入れによる技術研修と、本市職員による現地セミナーを開催
対象（相手）国・機関名	スリランカ上下水道公社

写真



事業体（団体）名	名古屋市上下水道局
----------	------------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 メキシコ市における下水処理改善
実施期間	2015年1月 ～ 2017年3月
主催機関	JICA
事業概要・目的	メキシコ市における下水処理を改善するため、メキシコ市上下水道局職員の受け入れによる研修と、本市職員による現地指導
対象（相手）国・機関名	メキシコ市

写真



事業体（団体）名	名古屋市上下水道局
----------	------------------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策研修A
実施期間	2015年9月30日～10月2日、10月23日（全体期間：9月23日～11月5日、44日間）
主催機関	JICA
事業概要・目的	開発途上国の水道技術者の無収水量管理対策の能力を強化するため、総合的な無収水量管理の研修を実施
対象（相手）国・機関名	アフガニスタン、タジキスタン、マラウイ、モロッコ、南スーダン、ザンビア、ジンバブエ、パラオ

写真



事業体（団体）名	名古屋市上下水道局
----------	------------------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策研修B
実施期間	2015年11月10日～12月23日、44日間
主催機関	JICA
事業概要・目的	開発途上国の水道技術者の無収水量管理対策の能力を強化するため、総合的な無収水量管理の研修を実施
対象（相手）国・機関名	スリランカ、エチオピア、ルワンダ、ナイジェリア、タンザニア、ブラジル

写真



事業体（団体）名	浜松市上下水道部
事業名称	JICA集団研修「上水道無収水量管理対策（漏水防止対策）」
実施期間	2015年10月26日～10月30日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>この事業は、JICAが開発途上国から行政官や技術者、研修者を研修生として日本に招き、それぞれの国が必要とする知識や技術に関する研修を行うもので、浜松市では2014年から2016年の3年間行う。</p> <p>2015年は、無収水管理について学ぶ研修生8ヶ国11名を受け入れている。</p> <p>浜松市における主な研修プログラムは、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏水調査業務の流れ ・漏水探知の現地訓練 ・漏水修繕工事の視察 ・漏水事故のない給水装置について ・簡易ろ過措置について（模型を使つての講義） ・浄水場施設視察
対象（相手）国・機関名	ザンビア(2名)、マラウイ（2名）、ジンバブエ、南スーダン、モロッコ、アフガニスタン、タジキスタン(2名)、パラオ（計11名）

事業体（団体）名	大阪市水道局
----------	--------

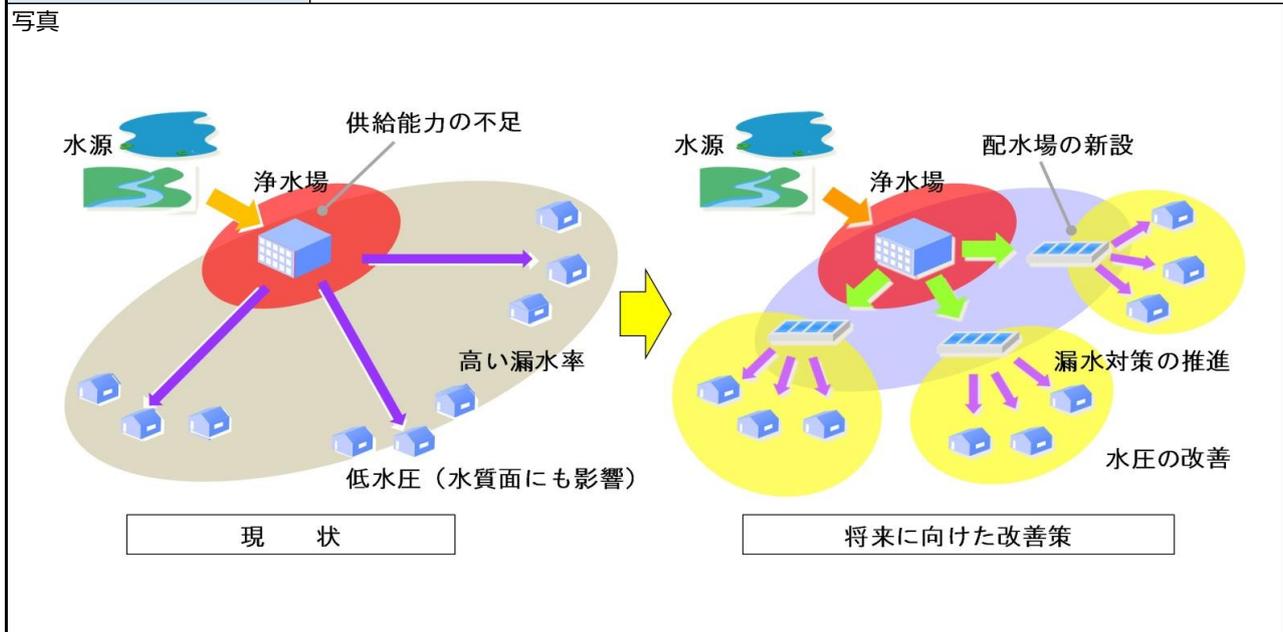
事業名称	平成27年度 ホーチミン市水道総公社との技術交流
実施期間	2016年3月21日～29日
主催機関	大阪市水道局
事業概要・目的	<p>ベトナム・ホーチミン市水道総公社（Saigon Water Corporation : SAWACO）と大阪市水道局の友好関係の促進や課題解決に向けた相互支援を目的として、2009年12月に締結、2015年11月に更新した「技術交流に関する覚書」に基づき、2010年度より、毎年SAWACO職員の受入れを行っています。</p> <p>今年度は、2016年3月21日から29日の期間に、SAWACOから3名の職員を受け入れ、水道の専門分野の意見交換、情報共有や視察等の技術交流を行いました。また、昨年度に引き続き、SAWACOを通じて技術交流に参画したいとの要請があったホーチミン市近郊の都市であるバリア・ブンタウ省の水道事業者であるバリア・ブンタウ省水道株式会社（Ba Ria - Vung Tau Water Supply Joint Stock Company : BWACO）から2名の職員を受け入れました。</p> <p>今回の技術交流では、施設整備事業、浄水場・配水場の運転維持管理、研修・人事制度などについて紹介するとともに、ホーチミン市水道、バリア・ブンタウ省水道の抱える課題について議論を行い、今後の課題解決に向けた提案やアドバイスを行いました。</p>
対象（相手）国・機関名	ベトナム：ホーチミン市水道総公社（SAWACO） ベトナム：バリア・ブンタウ省水道株式会社（BWACO）

写真



事業体（団体）名	大阪市水道局
----------	--------

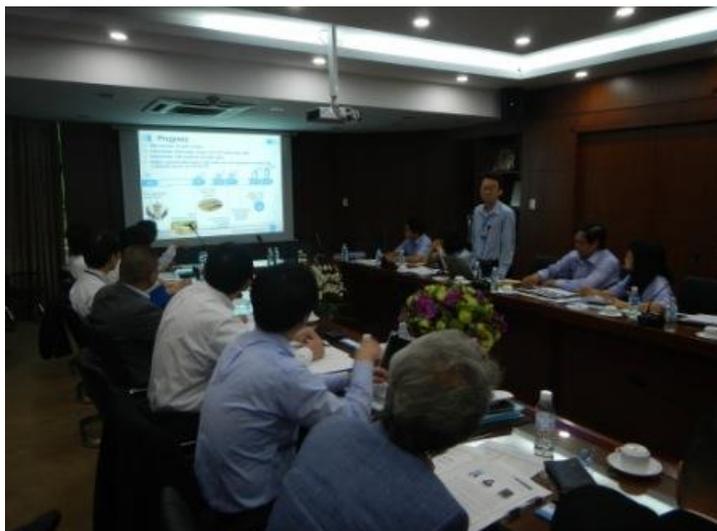
事業名称	JICA協力準備調査（PPPインフラ事業） 「日本の配水マネジメントを核としたホーチミン市水道改善事業準備調査」
実施期間	2014年2月18日～2015年9月30日
主催機関	東洋エンジニアリング株式会社（代表企業）、大阪市水道局、パナソニック環境エンジニアリング株式会社、プライスウォーターハウスクーパース株式会社
事業概要・目的	JICA協力準備調査（PPPインフラ事業）「日本の配水マネジメントを核としたホーチミン市水道改善事業準備調査」として、これまで行ってきた調査等※を踏まえて、配水コントロールシステムを導入して水圧や流量などを管理するための、配水場の新設及びその運営・維持管理を行うPPPインフラ事業の可能性について、官民連携のもと調査を実施しました。 ※主な調査実績 ○ NEDO「省水型・循環調和型水循環プロジェクト」（H21～H22） ○ 経済産業省「官民連携水事業展開のあり方に関する調査」（H23） ○ JICA「ホーチミン市給水改善計画調査」（H24～H25）
対象（相手）国・機関名	ベトナム：ホーチミン市水道総公社（SAWACO）



事業体（団体）名	大阪市水道局
----------	--------

事業名称	平成27年度水道産業国際展開推進事業
実施期間	2016年2月23日～25日
主催機関	厚生労働省
事業概要・目的	厚生労働省が、日本の水道産業の海外発展を支援し、日本の水道界がアジア各国の水道の発展に貢献することを目的に実施する「平成27年度水道産業国際展開推進事業」に参加し、当局が過年度より構築してきたベトナム・ホーチミン市水道（SAWACO）、バリア・ブンタウ省水道（BWACO）との連携関係を活用して、ベトナム現地調査の企画・運営に協力するとともに、当該現地調査に参加し、官民連携のもと先方事業体の課題やニーズの把握を行いました。
対象（相手）国・機関名	ベトナム：ホーチミン市水道総公社（SAWACO） ベトナム：バリア・ブンタウ省水道株式会社（BWACO）

写真



事業体（団体）名	大阪市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA集団研修「都市上水道維持管理」
実施期間	2015年5月26日～7月2日
主催機関	JICA関西
事業概要・目的	<p>開発途上国における既存の都市上水道施設の有効利用施策、並びに施設整備、維持管理手法や浄水処理技術などに関する技術の養成を目的とした「都市上水道維持管理」コースを設け、水道施設の維持管理に携わる技術者等を対象に集団研修を実施しています。</p> <p>また、国際貢献あるいは国際的な事業展開に対応できる人材を育成・確保するうえで、多くの海外研修生と接することで、開発途上国の現状や支援のあり方等についての理解を深めること目的に、これまで延べ65国、219人の海外研修生を受け入れています。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市水道局の事業概要、海外展開、災害対策 ・漏水調査計画実習、機動的点検整備、漏水調査機器 ・図面管理 ・管路維持管理の概要、漏水調査、修繕 ・給水装置概要、維持管理技術、直結給水、給水メータ ・管路の付属設備、配管実習 ・給水工事实習（分水、割丁穿孔） ・給水修繕実習（圧着修繕・小径管解体） ・取・浄・配水施設 ・電気・機械設備の維持管理 ・水浄水施設の運転管理 ・水質管理（水質管理方法、浄水処理等） ・施設見学（取・浄・配水場）
対象（相手）国・機関名	エチオピア、ミャンマー（2）、カンボジア（2）、マレーシア、ケニア、バングラデシュ（2）、ナイジェリア、トルコ、南スーダン（2）、ザンビア、イラン、パキスタン、モロッコ、スーダン 計14ヶ国 18名

写真



事業体（団体）名	京都市上下水道局
----------	----------

事業名称	インド・バラナシ市に対する技術協力事業
実施期間	2015年4月22日
主催機関	京都市
事業概要・目的	<p>インド・バラナシ市からの要請により、バラナシ市長をはじめとした訪問団の京都市来訪に際して、下水道分野の技術協力の一環として処理施設の技術視察を受け入れるとともに、公共下水道事業の概要について研修説明を行った。</p> <p><主な研修プログラムは以下のとおり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道事業の概要 ・ 下水道施設見学（鳥羽水環境保全センター） ・ 道路工事に係る各事業者との調整方法 ・ 意見交換会
対象（相手）国・機関名	インド（5名）

写真



事業体（団体）名	京都市上下水道局
----------	----------

事業名称	JICA国別研修「水道事業における国の役割，水道事業経営」
実施期間	2015年9月24日～25日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>本研修は、「ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト」の一環として、主に指導的役割を果たす技術者を養成することを目的とした集団研修である。開発途上国の中堅水道技術者を対象とし、企業や各都市において約2か月間にわたり水道技術全般に関する講義，視察，演習を行う研修のプログラムが実施された。</p> <p>当局では、JICAからの依頼を受け下記の研修プログラムを実施した。</p> <p><主な研修プログラムは以下のとおり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道局の経営戦略 ・ 水需要の予測の手法 ・ 浄水場の運転・管理 ・ 配水管の更新と耐震化 ・ 鉛製給水管の解消 ・ 公共下水道事業 ・ 上下水道施設見学（水質管理センター，鳥羽水環境保全センターなど）
対象（相手）国・機関名	ラオス（13名）

写真



事業体（団体）名	神戸市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修「都市上水道維持管理（浄水・水質）（B）」
実施期間	2015年7月13日～8月14日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>本研修は、「浄水・水質」分野の業務を担う技術者の養成を目的とした集団研修。2015年度は13ヶ国14名の研修員を日本に招き、対象分野に関する講義・実習・見学等を実施した。</p> <p>主な研修として、以下の内容を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浄水処理方法 ・ 機械・電気設備の維持管理 ・ 水質管理の方法 ・ 浄水場の運転管理 ・ 水安全計画 ・ 上水道施設の見学（貯水池、浄水場、ポンプ場等）
対象（相手）国・機関名	エクアドル、エリトリア、エチオピア、ラオス（2）、インド、イラク、マラウイ、コンゴ民主共和国、スリランカ、ソロモン、南アフリカ共和国、トルコ、ジンバブエ（14名）

写真



事業体（団体）名	神戸市水道局
----------	---------------

事業名称	水道分野海外水ビジネス官民連携型案件発掘形成事業
実施期間	2015年12月7日～11日
主催機関	厚生労働省
事業概要・目的	<p>スリランカのコロンボ県、カルタラ県、アヌラダプラ県を対象に、水道システムへの監視制御システム導入に向けた現地調査を、三菱電機（株）、（一財）神戸市水道サービス公社、神戸市水道局の3者共同で行った。</p> <p>主な事業内容は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業対象地区における水道施設の状況調査 ・ 国家上下水道公社（NWSDB）職員との協議 ・ その他関係機関との協議
対象（相手）国・機関名	スリランカ国・国家上下水道公社（NWSDB : National Water Supply and Drainage Board）

写真



事業体（団体）名	広島市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修「都市上水道維持管理」（給・配水）（B）コース
実施期間	2015年7月2日から8月10日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>開発途上国の上水道の実務に携わる技術者を研修員として受け入れ、本市の給配水分野における実践的知識と技術を習得してもらうことにより、研修員が所属する水道事業体の発展に寄与することを目的とする研修。</p> <p>JICA中国からの要請を受け、平成25年度から29名の研修員を受け入れている。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水理計算 ・ 浄水場の運転管理と維持管理 ・ 水質管理 ・ 漏水防止研修 ・ 給配水管の破裂修理 ・ 温井ダム・太田川源流の森視察
対象（相手）国・機関名	アルバニア、コンゴ民主共和国、イラク（2名）、マラウイ（2名）、ナイジェリア（2名）、スリランカ、タンザニア（計10名）

写真



事業体（団体）名	広島市水道局
----------	--------

事業名称	JICA国別研修イラク「環境・水管理エンジニアリング」コース
実施期間	2015年9月3日から9月18日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>イラク共和国の上水道の実務に携わる技術者を研修員として受け入れ、本市の給配水分野における実践的知識と技術を習得してもらうことにより、研修員が所属する水道事業体の発展に寄与することを目的とする研修。</p> <p>JICA中国からの要請を受け、平成23年度から31名の研修員を受け入れている。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浄水場の運転管理と維持管理 ・ 水質管理 ・ 漏水防止研修 ・ 給配水管の破裂修理 ・ 温井ダム・太田川源流の森視察
対象（相手）国・機関名	イラク（計7名）

写真



事業体（団体）名	下関市上下水道局
事業名称	平成27年度 青島水務集团有限公司との職員相互派遣研修
実施期間	2015年10月14日～10月18日
主催機関	下関市上下水道局・青島水務集团有限公司
事業概要・目的	<p>下関市と青島市は、1979年の友好都市提携以来、様々な分野で友好交流を促進し、多大な成果をあげている。</p> <p>これらの一環として、下関市上下水道局と青島水務集团有限公司との間で相互に職員を派遣している。この職員の相互派遣研修は友好関係を深め、両市の上下水道技術の向上を目的としている。</p>
対象（相手）国・機関名	中国・青島水務集团有限公司

事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 フィジー共和国ナンディ・ラウトカ地区水道事業に関する無収水の低減化支援事業
実施期間	2014年3月～2017年2月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>漏水などによる高い無収水率を低減するため、職員の現地派遣、本邦研修を実施して配水管の維持管理・整備計画に携わる技術者を育成し、移転した技術（漏水探知や漏水防止工事）を活用したカウンターパートのパイロット地区での無収水率低減化活動を支援する。主な活動は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 職員の現地派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査：実態把握 ・ 講義：漏水防止，水運用，配水管網計画，配水管網設計など ・ 視察：水道施設，漏水修理現場など ・ 協議：無収水率の低減化策（物理的損失，非物理的損失） ・ 支援：パイロット地区での無収水率低減化活動 ■ 本邦研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義：福岡市の水道事業，無収水対策，配水管網設計，施工管理，営業業務など ・ 視察：配水管布設現場，漏水調査現場，水管理センター，海水淡水化センターなど ・ 実技：給水装置配管，漏水修理，応急修理など
対象（相手）国・機関名	フィジー共和国・フィジー上下水道公社

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	JICA個別専門家 ヤンゴン市水供給・衛生アドバイザー
実施期間	2015年8月～2017年7月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■目的：ヤンゴン市開発委員会の上水・衛生分野の事業計画の立案能力，計画実施能力の向上</p> <p>■活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ヤンゴン市の上水道事業に係る情報収集及び関係者への共有を行う。 2) ヤンゴン市開発委員会幹部及び給水衛生局職員と共に現状分析や課題整理を行う。 3) ヤンゴン市開発委員会幹部及び給水衛生局職員に対し，以下の点に関する助言を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・水ビジョン実現及び上水道分野にかかる開発方針・事業展開計画の推進 ・上水道事業運営 ・衛生改善 など 4) ヤンゴン市の経験を踏まえた上水道事業にかかる中央省庁や他都市への知見共有及び助言・提言を行う。 5) 将来の日本の協力案件の発掘・実施促進のための支援を行う。
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策（漏水防止対策）（C）
実施期間	2015年11月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■ 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アジア諸国等の技術水準の向上 ・ 国際協力活動を通じた局職員の人材育成，活動の積み重ねによる水道技術力の維持向上など <p>■ 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義：福岡市の水道事業，漏水防止，配水管整備・維持管理，メータ管理など ・ 視察：ダム，取水場，浄水場，配水施設，配水管布設現場 など ・ アクションプラン作成支援
対象（相手）国・機関名	フィリピン，フィジー(2名)，パキスタン，ネパール(2名)，ラオス(2名)，チュニジア，トンガ，バングラデシュ(2名)

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	一般財団法人自治体国際化協会 自治体職員協力交流事業
実施期間	2015年6月～11月
主催機関	一般財団法人自治体国際化協会
事業概要・目的	<p>■目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤンゴン市開発委員会職員の人材育成を通じたヤンゴン市水道の運営・維持管理の改善 ・国際協力活動を通じた局職員の人材育成，活動の積み重ねによる水道技術力の維持向上など <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：福岡市の水道事業全般 ・視察：ダム，取水場，浄水場，配水施設，配水管布設現場 など ・アクションプラン作成：浄水場における水質管理
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	---------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト（ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト）
実施期間	2015年～2020年
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>ヤンゴンでは、円借款を活用した水道施設整備が進められているが、持続的な給水サービスを確保するためには、施設整備と並行して、ヤンゴン市開発委員会の組織能力強化も必要であるため、JICAが円借款事業に付した技術協カプロジェクトを実施。福岡市水道局は、東京都水道局と共同で現地セミナーや訪日研修を実施。</p> <p>2015年度：講師派遣（1月24日～1月30日）</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	沖縄県企業局
----------	---------------

事業名称	大洋州 島嶼における水現管理・水道事業運営
実施期間	2015/7/13～2015/9/4
主催機関	JICA
事業概要・目的	太平洋の島嶼地域に対する効果的な水道システムの技術移転を通じた国際交流・国際協力を目的として、県内市町村等水道事業関係機関及びJICA沖縄との連携のもと、水道事業に関する海外研修員受入事業を実施している。今年度で6回目になり受入研修員数は69名となっている。
対象（相手）国・機関名	サモア（3名）フィジー（1名）、パプアニューギニア（1名）、キリバス（1名）、ナウル（1）、ソロモン諸島（2）、バヌアツ（1）、ミクロネシア連邦（1）、マーシャル諸島（1名）

事業名称	サモア水道公社 維持管理能力強化プロジェクト
実施期間	2014年度～2019年度
主催機関	JICA
事業概要・目的	サモアの首都アピアの給水区において、無収水対策、水質管理及び浄水場管理に係るSWAの能力強化を行うことによりプロジェクト対象地区における安全かつ安定的な給水を図り、もってアピア全体への安全かつ安定的な給水に寄与する事を目的に沖縄県下の水道事業体を中心に専門家の派遣などを行っている。
対象（相手）国・機関名	サモア水道公社

事業体（団体）名	公益社団法人 日本水道協会
----------	---------------

事業名称	JICA課題別研修「上水道施設技術総合（A）」
実施期間	2015年6月17日～8月19日
主催機関	JICA東京
事業概要・目的	<p>水道建設計画の策定技能の習得を中心に、水道施設や水道事業の運営に指導的役割を果たす技術者を養成することを目的とした集団研修。</p> <p>開発途上国の中堅水道技術者を対象とし、約2か月間にわたり水道技術全般に関する講義、視察、演習を行う。今年度で48回目を迎える歴史の長い研修で、これまで90を超える国と地域から598名の研修員を受け入れている。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取水・貯水・導送配水施設 ・ ジャーテスト ・ 漏水防止対策・策定 ・ 水道基本計画演習 ・ 水道資機材製造工場見学 ・ 耐震工法と震災対策 ・ 地下水技術 ・ 浄水処理 ・ 水需要予測と管路の水理学 他
対象（相手）国・機関名	カンボジア、エチオピア、マラウイ(2)、ミャンマー、ルワンダ、サモア、ソマリア、スーダン(2)（計10名）

写真

